

中央区文化センター 定期演奏会

"BACH RENAISSANCE" IN KOBE

J.S.バッハとF.メンデルスゾーンの不朽の名作たち

Bach & Mendelssohn

「伝統とは火をまもること、灰を崇拝するにあらず」とはマーラーの言葉... きっとメンデルスゾーンも頭の中(そして心の中)に同じ思いを持っていたはず。1829年年、20歳の若き指揮者のメンデルスゾーンは、今ではバッハ珠玉作品の一つとして有名な「マタイ受難曲」を素晴らしい解釈で再演し、眠りかけていた「バッハルネサンス運動」を目覚めさせ、今では音楽の父と呼ばれるバッハの音楽を忘却の彼方から救い出しました。



その時からメンデルスゾーンはこの偉大なるマエストロの曲を取り上げ続け、バッハ作品を自らの演奏会の演目に取り入れ紹介し、亡くなる数年前には、バッハ後期のオルガン作品を出版に向け校正しました。本日のコンサートでは「偉大なる音楽の建築家」とも言われるバッハとメンデルスゾーンのスピリチュアルな友情、世紀を超える師弟関係を祝いたいと思います。バッハにとってメンデルスゾーンは理理想的な門下生であり、熱心な同僚であったのです。

Ticket Information

全席自由 一般 2,500円
学生 2,000円



*学生は、小中高校生
*未就学児はご相談ください
*チケットご予約、ご購入はQRコード、もしくはお電話で受け付けます。
詳しくは裏面をご覧ください。



Xavier LUCK



Yutaka HAYASHI



Mariko SANO

4月28日(金) 19:00 開演 (18:30 開場)

PROGRAM

※曲目は変更する場合がございます

J.S. バッハ：ヴァイオリンとチェンバロのためのソナタ第4番 ハ短調 BWV 1017

J.S. バッハ：フルートと通奏低音のためのソナタ ホ長調 BWV 1035

J.S. バッハ：無伴奏チェロ組曲 第1番 ト長調 BWV 1007より前奏曲
クーラント、サラバンド、メヌエットI & II、ジーク

J.S. バッハ：〈音楽の捧げもの〉

フルート、ヴァイオリンと通奏低音のためのトリオソナタ BWV 1079

休憩

F. メンデルスゾーン：ピアノ三重奏曲 第1番 ニ短調 Op. 49



Mauro IURATO

Violin & Producer

マウロ・イウラート

トリノのG・ヴェルディ音楽院を一年早く最優秀成績で卒業後、C.ロマーノ、F.グッリ、S.アッカルドらに師事。ウィーン国立音楽大学に進みM.フリッセンシュラーガー教授に師事、同大学のプロジェクトで派遣准教授として来日。大阪フィル、PAC、アンサンブル金沢など著名なオーケストラのゲストコンサートマスターとして多数出演。ハルモニアKOBE(株)設立・同ミュージックスクール代表として世界的レベルの音楽教育を提供。多数のコンクールより優秀指導者賞を受賞する。またモーツァルトウム大学(SOAK)など海外のマスターコースでも定期的に教える。相愛大学、兵庫県立西宮高等学校音楽科講師。2022年、神戸市民文化振興財団より中央区文化センター音楽プロデューサーを任命、また神戸文化支援基金よりこぶし志縁賞、神戸市より神戸市文化奨励賞を受賞。



2013年より神戸女学院大学音楽学部准教授。

林裕

東京藝術大学卒。日本音楽コンクール第一位、黒柳賞を受賞。アフィニス文化財団、ローム音楽財団の奨学生として、フライブルク音楽大学院を首席修了。青山音楽賞、松方ホール音楽賞大賞、大阪文化祭賞グランプリ、音楽クリエイティブクラブ賞本賞、文化庁芸術祭優秀賞を受賞。CD「SOLO ist」がレコード芸術の特選盤になった。いずみシンフォニエッタ大阪のメンバー。ポッパーチェロコンクール審査員長。元相愛大学准教授、神戸女学院非常勤講師。セルヴェ協会名誉会員。そのくに音楽祭の「発掘コンサート」に抜擢される。現在、沖縄県立芸術大学教授。

佐野 まり子

東京藝術大学卒業、イタリアのイモラ国際ピアノアカデミーピアノ科及び室内楽科修了。Y・テミルカーノフやA・ナヌート等の著名な指揮者と共に、イタリア各地でリサイタルや音楽祭に数多く出演。国内では東京文化会館にてリサイタル。NHK-FM名曲リサイタル等に出演。青山音楽賞受賞。近年はベートーヴェンの最後のピアノソナタ3曲をテーマとしたリサイタルを開催する他、室内楽奏者としても幅広い演奏活動を行なっている。大阪教育大学、相愛大学、兵庫県立西宮高校音楽科にて講師を務める他、イタリアやスペインの国際音楽講習会の講師に招待されるなど後進の指導にも力をいれている。イタリアやスペインの国際音楽講習会の講師に招待されるなど後進の指導にも力をいれている。

